

先週、荒川区立の中学校で荒工の紹介をしてきました。荒工が都内で唯一の電気系専門高校であること、電気工事士の資格取得等に力を入れていることを中心に説明してきました。加えて、荒工は、「**学び**」を生かした**進路指導に重点**を置き、社会に出るための準備をしている点で普通高校と異なることを伝えてきました。

皆さん、「学び」を生かした進路指導とは何か分かりますか。それは、決して電気・電子・情報技術の教科の専門性のことだけではありません。実は、入学してから卒業するまでの**全ての活動が職業高校としての「学び」で、社会に出るために必要なこと**です。

例えば、生活指導のルールは何のため？工業高校を卒業する皆さんの信用です。実習の感想等を書くのは何のため？社会の中で自分の考えを正しく伝えるため。提出物の期日を守るのは何のため？期日を守らない人は社会で信用されなくなるから。検定資格や部活動で努力するのは何のため？根気強くチャレンジを続けることのできる強さの証。では、あいさつは何のため？わかりますよね。全ては進路指導につながっています。元気よく挨拶です。

荒工の先生方は、皆さんが社会に出る時のことを第一に考えています。厳しいと感じることも、社会に出た時に皆さんが困らないようにとの思いからです。だから、授業時間一杯を使って皆さんを鍛え上げます。皆さんを社会に送り出す準備として。それが職業高校ですから。

いよいよ、期末考査が始まります。与えられた合格ラインをしっかりと越える努力をしてください。先生方は最後まで皆さんを応援してくれます。



ぶらり、あらこう散歩

【全日】**授業時間を1分も余らすことなく鍛えぬく授業**を実践していたのは、国語科の鈴木先生でした。教え込む時間、考え、活動させる時間のメリハリの効いた展開に必然的に吸い込まれていきます。その中で私が一番感心したことは、**生徒理解の深さ**です。一人一人の生徒の普段の様子と授業中の様子を組み合わせることで理解し、少しでも気が緩んでいれば間髪入れずに指摘する。国語の専門性の高さもちろんですが、深い生徒理解を基にした確かな生活指導の力で生徒を引っ張り続けています。「**君たちが必要としている力は何か！！**」そんな魂への問いかけをされているような授業でした。



【定時】部活動が戻ってきました。通常の授業後の部活動は夜9時から開始となります。昼間働き、夕方から勉強した後の活動はしんどいはずなのに。待ちに待った活動を楽しむ姿にうれしさを感じずにいられません。廊下に響くトレーニングの金属音、教室で話し合う声、今週はバドミントンに参加しました。

指導者の高い技術に引き寄せられ集まってきたであろうバドミントン部のメンバー、全力で相手をする指導者、指導者の壁は高いですね。それでも、一歩ずつ近づこうとしている皆さんの姿は格好よく感じました。

部活動で学べることは多い。仲間との支え合い、目標に向かって自分を磨き続ける努力、ルールを守り、時間を無駄にすることのない練習と**確かな成果**。いいね！部活動は。考査終了後、また参加させてもらいますのでよろしくね！

自分を信じ！磨き続けろ！荒工生！



「未来を創る！彩る！荒川工業」